高橋 八重典 議員

政新会

問 先人達からのバトンを次世代に
答 駅周辺整備を進め将来像を目指す

問 弥富駅周辺整備事業と愛知県の総合計画マスタープランの関係は。

答 市長 名古屋都市計画区域においても重要拠点であり、本事業で交通結節点の機能強化に努める。

問 説明不足により市民が混乱する事態になった責任は。

答 建設部長 鉄道事業者2社の意思決定が整わない状況で、公表できない内容もあった。

問 反対署名ビラの比較数字が間違っていることへの訂正をなぜ求めないのか。

答 以前から訂正等の対応はしていない。

しかし、近鉄弥富駅整備は南口広場等整備の約14億6千万円を加え合計約39億円となり、JR・名鉄の約46億7千万円は比較して特に高額ではない。

問 JR・名鉄弥富駅事業をまず完成させ、合法な駅にした上で、狭あい道路・東西踏切も含んだ事業にすべきでは。

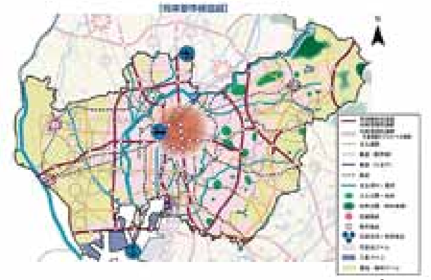
答 市長 交通結節点を整備し、その後のまちづくりに繋げていく。

問 任期中に必ずやるべきことは。

答 令和4年4月に事業着手したい。

問 県マスタープランに対し、当市の将来像をリンクさせ、いつまでに準備していくのか。

答 県マスタープランに即した「弥富市都市計画マスタープラン」で目指す将来像に近づくよう進める。



▲名古屋都市計画区域マスタープラン

問 公共交通社会実験の主役は誰?
答 利用者主体の課題解決を目指す

公共交通の社会実験について以下を問う。

問 第1期急行バス社会実験での利用状況は。

答 市民生活部長 1日あたり約34人。

問 デマンドの延期理由は。

答 市民に新しい運行方法の説明、運行事業者選定、スケジュールの見直し等を陸運局から指示されたため。

問 協議会に学区単位の下部組織を作り、協議すべきでは。

答 下部組織的な検討委員会を設置し、地域に必要な公共交通を自分たちが主体で取り組むことが望ましい。

問 低額の一律料金で利用促進を図っては。

答 学生運賃無料化やエリア内低額の一律料金等は、協議会に諮る必要がある。

問 デマンドを含め出来る所から早急に行うべきでは。

答 出来るエリアから順次導入していく。

問 蟹江駅に行くため、飛島バスへの乗り入れを考えるべきでは。

答 飛島村と路線維持や乗り入れ等協議したい。

問 大幅な見直しは今回がラストチャンスと考えるが。

答 利用対象者となる市民に対して、我が事と考えてもらえるよう説明していく。

▲きんちゃんバス
第2期社会実験
(南部ルート)